

# いまこそ決断するとき！

## 日刊 動労千葉

80.1.23  
No. 639

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（電話）二九三五・六（公衆）品三二七二〇七

# 動労千葉に結集しよう！

銚子支部の組合員のみなさん。

すでにみなさんも周知の通り、動労「本部」反動分子による直接的な銚子支部分裂・破壊工作として画策された「十二・二三動労銚子支部業務再開」なる組合民主主義破壊、ファシヨ的暴挙は、「銚子の将来にかかわる重要な組織問題であり、今までのように支部大会で決めるべきだ」との組合員の正当なる意見と、動労千葉組合員による真摯なオルグによって事実上「十二・二三業務再開決定凍結」ともいうべき決定が、一月二一日銚子支部執行委員会で行われました。そして一月二七日、臨時支部大会を開催し、「業務再開」を問う形での一票投票を行うとのこととなります。

銚子支部の組合員のみなさん、いまこそ決断すべき時がきたのです。動労千葉は、過去一貫して訴えてきたように、銚子支部の統一と団結を守る唯一の方向は、動労千葉に結集し労働者の権利とよりよい労働条件を獲得するために共に歩むことが最良の道であります。一・二七臨大で「業務再開」をキツパリと拒否し、動労千葉と共に前進しましょう。

## 銚子組合員の総意を実現した 動労千葉の主張！

一月二一日開催された銚子支部執行委員会の決定は、一月二七日、臨時支部大会を開催し、記名一票投票方式をもって「業務再開」に賛成か否かを問う。その場合白紙は認めないというものであります。この決定自体に不十分なものがありますが、事実上「十二・二三業務再開決定を凍結」し、一部執行部によって行われた「執行部一任の署名」を無効にし、十二月二三日以前にもどして新たに銚子支部の方向性を大会の場で一人ひとりの意志表示によって決定するといふものです。

これは、銚子支部組合員の総意を代表して、銚子支部組合員とともに年末年始を返上し連日におよぶ臨時支部大会開催要求と「業務再開」のもつベテン性と反動性を暴露した動労千葉全組合員によるオルグの成果であるのです。

## 「業務再開」をキツパリと拒否しよう

銚子支部の組合員のみなさん。

こんちの銚子支部の混乱した状況を解決する唯一の道は、一月二七日臨時支部大会で「業務再開」に「本部」派への策動をキツパリと拒否することにあります。

仮りに「業務再開」が認められたとするならば

まさに銚子は永久に泥沼状況に陥るのは必至であります。それは、十二月二三日突如として大会決定を執行委員会できつがえし以後の銚子支部の混乱と分裂を必死に画策した張本人は、他ならぬ「本部」反動分子であり、銚子を動労千葉解体の「出先機関」にしようとしているのであります。しかも「本部」反動分子のプランは、「銚子支部業務再開」―動労千葉解体のための「一・三〇千葉地本再建大会」に血道をあげているのです。つまり「千葉地本再建大会」のためには「銚子支部業務再開」は、彼らにとって欠かせない条件になっているのです。

このような悪らつ極まる「銚子支部業務再開」を、わが動労千葉一三〇〇組合員はだまって見過ごす訳にはまいりません。

その理由は、この間の動労千葉のオルグによって、銚子支部組合員のみなさんは十分に理解されていると考えます。

銚子支部の組合員の皆さん。

一月二七日臨時支部大会は、銚子支部を「本部」反動分子の「出先機関」と化し、混乱と泥沼の道を選ぶのか、それとも、この混乱に終止符をうつて労働組合運動の原則的立場を守り動労千葉と共に歩むのか、重要な場となったのであります。今こそ、勇気をもって決断する時であります。

「業務再開」に反対し、わが動労千葉に結集し共に前進しようではありませんか。